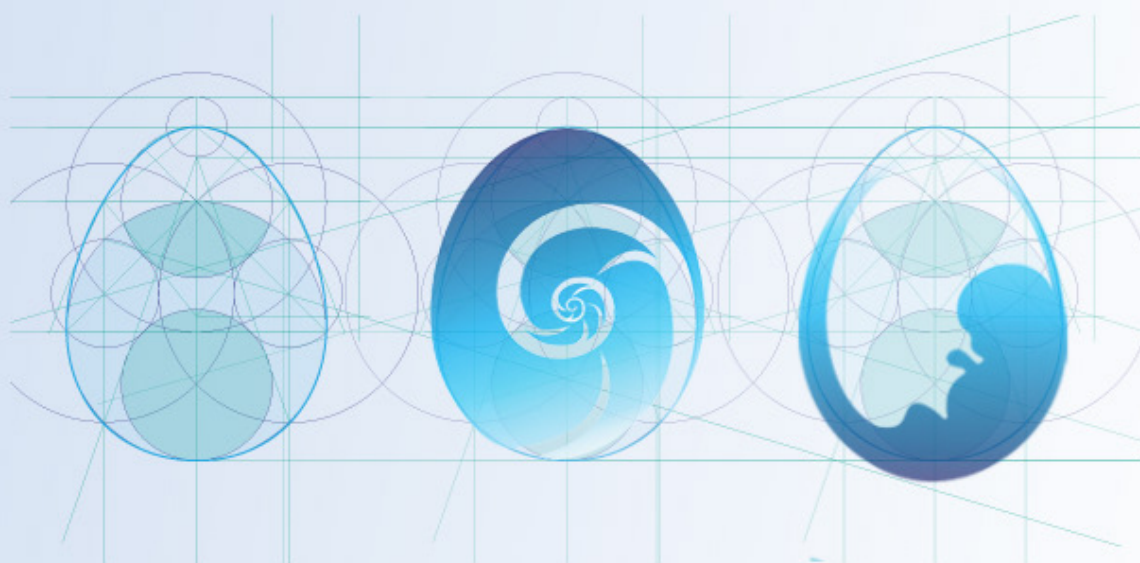


Em-Body Orient /Occident

東洋と西洋の体現

Nicola Carofiglio × 田畑浩良 通訳: 古川智美



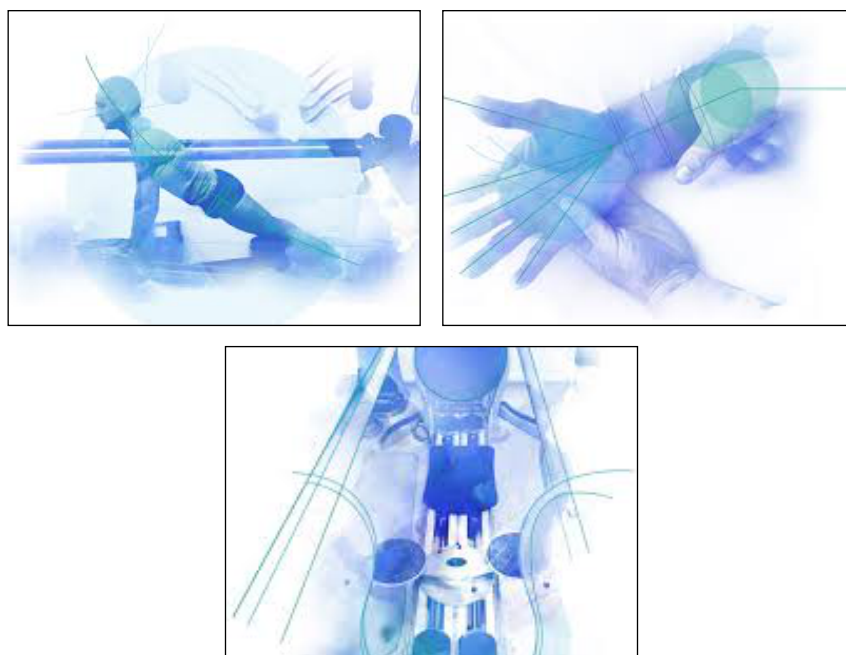
ROLFING | NICOLA
MOVEMENT | CAROFIGLIO

ROLFING | CAROFIGLIO
MOVEMENT | NICOLA



Introduction

身体は、私たちが自分自身と外界を結びつける媒体です。私たち自身が常に感覚情報を認識し、その解釈によって普段の行動へと繋がっています。それには、自分自身の知覚による動きの中で、空間を確保する能力も重要な要素です。サイエンス及び生体力学的な観点を元に、体験的実習を織り交ぜながら、さらなる空間との密接なる結びつきができるよう、身体感覚の探求をわかりやすく丁寧なガイドで導いて行きます。東洋・西洋の文化、習慣、環境、信念からなる文化的差異を飛び越え、ヒトである生物として創造力を刺激する千載一遇の時を提供します。



Navigation

ボール、バランスボール、テニスボール、タオル、ヨガマット及びブランケット等を使用しながら、壁や床を使ってのエクササイズ感覚で心身を探求していきます。講師ニコラ氏のガイドに導かれ、身体感覚をシンプルな「言葉」での表現から「動き」へと変換し未知なる知覚を探ります。その”場”に田畑氏が加わることで媒体である身体を、空間との関係的認識力を高めて行き、摂理の統合性を引き出す試みは、”場”の共振性を森羅万象として疑う余地はありません。

バラエティ溢れる身体感覚をニコラ氏のガイドにより認識することで、田畑氏の言う”場”である空間との関係性にも焦点が合うこのワークショップでは、日欧初の試みである両講師のコラボレーションにより、身体と空間の関わり方がどのように発展していくのか、未知数です。自然の摂理として身体感覚を素直に捉えることが重要な要素となりますが、

今、ここで、すべての存在を味わうことが出来るよう、まずは両講師のガイドを楽しむことで、新たな気づきを体感して下さい。

各分野の様々な方に対応できるべく、ダンサー・振付け師・指圧（レベル3）マーシャルアーツ・Gyrotonic® 指導者・Rolf Movement®講師と多彩なバックグラウンドを持つニコラ氏と”間”を肚の感覚で認識し、空間を創り出す田畑氏とのコラボレーションは東洋と西洋の異文化から生まれた差異を、どこまで融合することができるのでしょうか。このワークショップは、ひとつの人生とさえ感じられる台本のない即興舞台のように感じますが、両講師の知識、経験に基づいた実践によるさらなる探求であり、この”空間”で共に体感し共鳴することは、今後のご自身の生活の中で大変有益な時間となる事、間違いありません。ピンと来た方、是非ふるってご参加ください。

講師紹介



Nicola Carofiglio

Certified in 2004, Certified Advanced Rolfer™

Rolf Movement® Practitioner™

European Rolwing® Association e.V.

Rolf Movement® Faculty

Gyrotonic Expansion System® Trainer

イタリア、ドイツでダンスを学び、約20年以上に渡りダンサー、コリオグラファーとして活躍。指圧を通じて身体を理解を深め、心身の探求を始める。その後、Rolfing®、Gyrotonic Expansion System®を学ぶ。心と体に存在する創造的知性に表現と形を与えることを、彼の人生でのインスピレーションとして模索しながら洗練させて行く。生地イタリアを拠点とし、現在は欧州ロルフィング協会 (ERA) で、Rolf Movement講師として活動。幾多のベーシックトレーニングをアシスト、他の講師及び生徒からも絶大な人気を誇り、新進気鋭の逸材と評判も高い。ダンス、振付、ジャイロトニック、マーシャルアーツなど多方面から探求を今尚続け、自分自身の新たな分野と展望と展望を切り開いている。以前より、田畑氏のイールドワーク(The Art of Yield) に大変興味を持っており、自身の探求分野として、田畑氏との共演を楽しみに来日を待ち望んでいる。



田畑浩良

Certified in 1998, Certified Advanced Rolfer™
Rolf Movement® Practitioner™
Dr.Ida Rolf Institute® Rolf Movement® Faculty
SE® Practitioner

ロルファー™として活動初期より、元研究員としての知識と経験を元に模索を続けつつ理解を深め、過去20年にわたる実践により彼独自の手法 "The Art of Yield" (イールドワーク)を、ロルフィング®の原理原則に沿った形で創出し、日本でのロルフムーブメント® 教員、アドバンストロルファー®として現在も活動中。

イールドワークでは東洋的概念を用い、クライアントとの間(スペース)や肚(丹田)を重要なファクターとしながら、施術者・クライアント両者ともに、その場において安らぎの感覚を生み出す事が、自発的再生へと向かう状態へ導く原則と説いています。

その後の施術者による最低限の介入は、あくまでセッション内での道しるべともいえるサポートとして、クライアントのシステムを尊重しています。自発的に起こる再構成をサポートすることが、持続性を保ち本来あるべき姿へと戻って行く。つまり、身体が知っている感覚を思い起こして行くきっかけを引き出し、後は本人のシステムに任せるべきだと。

記述・口頭では想像しがたい手法ですが、施術者とクライアントという枠を飛び越し、人間本来の持つ身体感覚のオーケストレーションとでも呼べる手法は、古典的な筋膜リリースと呼ばれる手法と違い変革的ですが、施術実践者としては、身体感覚と空間を通して共鳴する"場"への認識に一石を投じる、新たな窓口となるでしょう。

彼は東京に拠点を置き、普段は活動していますが、アメリカでもインストラクターとして不定期に活動しています。

推薦コメント

ドイツ在住ダンサー・プロフェッショナルバレエクラス講師、Rolfer™

佐藤優子さん

"歯車がまわり出す"

一体何故、ニコラのクラスを受けると、この感覚が沸き起こるのだろうか？それは、動くという事、人に触るという事、重力との関係性という事について、彼の体験をもとに積み重ねられ、研ぎすまされてきた、"実際"であるからだ。ウベア・ゴダール氏をはじめ様々な巨匠達から習得したエッセンス、複雑に絡み合った論理、論理から実際への翻訳、それを彼はとてつもなく簡潔に、必要な分だけ、必ず何かしら実体験するように導いてくれるのである。

現在進行形で研究し続けている彼の経験に沿って、現在の"自分の身体"を実体験させてくれ、これは難易度高いけれど頑張れば習得できそうな感じがする(光がみえる)、習得し始めれば日頃疑問に思っているアレやコレにも応用できる気がしてならない(インスピレーション)、という所まで、楽しくテンポ良く時間が過ぎていく彼のクラス。必要に応じたツールを渡してくれ、且つ、それを磨いていくという楽しみができる、という事である。

私自身ダンサー、ダンス講師という背景から沢山のワークショップを受けて来たが、ここまで分かりやすく精密に"動き"について人に教えることができるのは、ただただ尊敬に値する。ロルフィングのスーパービジョン、メンタリングを通してミッシングリンクをくれた事にとっても感謝しています。

ロルフムーブメントとは？理論とイメージの認識はあるがそこまで体感した事が無い方、日常や自分の分野に取り入れる事はできるのか試行錯誤中の方、ニコラのクラスを受けると、今まで自分が組み立てて来た歯車がまわり出しますよ！

European Rolfin® Association Faculty Giovanni Felicioni

ニコラは、優れたRolfin® プラクティショナーかつ、Rolf Movement™ インストラクターです。彼のスキルは美しく層をなしており、複合的ながらも単純明快です。私には、これ以上に彼を推薦する言葉を選べません。彼はHubert Godard氏の仕事を非常によく理解しています。皆さんが非常に啓発的かつ実用的で、大変役立つワークショップになると私は確信しています。

ジャイロトニックスタジオ Italy

Flowing studio Pilates e Gyrotonic ssd r.l. - Roma Eur

ニコラは、私たちのスタジオでロルフムーブメントや運動治療方法論を用いて、ワークショップを開催しました。大変面白いメソッドで私たちは、とても楽しめました。簡単に単純な動きを、プロの視点から教えて頂きました。日本で彼のワークショップを、ぜひ楽しんでください。

ダンサー、Gyrotonic ExpansionSystem® Trainer, Rolfer™

Hideto Heshiki

2017-2018 Rolfinf intensive course , また、2018-2019 Rolfinf movement course を通じて、彼の佇まいから私が強く感じたことは、”自らの身体を通じて、自らの身体に向き合うこと、そして、他者、自然、環境とも自らの身体のように向き合い、体感することの尊さ”です。ニコラは、人として一見、当たり前のことを、真摯に実践しようとしているように思います。

European Rolfinf® Association Faculty Rita Geirola

ニコラは、ヨーロッパのRolf Movement Facultyで私のアシスタントとして、沢山のクラスの中でのプロセスで助けてくれました。この推薦コメントは、私と共に彼が働いていた、教育の質を評価する絶好の機会を与えてくれました。

ニコラは、Rolfinfに期待される見通しを、深く有意義な方法で取り入れています。彼は研究者の態度でその分野に情熱を注いでおり、私たちがロルフイングムーブメントと定義するものの意味に、深く潜るのを決してやめないのが、彼の作品には継続的な発展があります。ニコラは、講師の立場としてこの態度を伝え、生き生きとした好奇心を生徒に作り出します。彼は軽快で簡単な方法を体系化し、自己認識が成長する助けを導いてくれるでしょう。

私が思うに上記すべての要素は、ニコラが学部にもたらす豊かさであると私が考え、いくつかの関連する資質を説明できることを体現しています。

Rolfer™ 大塚英文さん

Nicolaとは、2018年1月末から2月までの10日間、ミュンヘンで開催されたRolf MovementのトレーニングでAssistantとして入り、お世話になりました。Instructorとは違う目線、ダンサーの視点で、ロルフイングに必要なMovementについてその場でフィードバックをいただけるので、わかりやすく、ヒントとなることもありました。

The Art of Yield (イールドワーク)について

メアリー・ボンド, Rolf Movement 教員

著書：感じる力でからだが変わる: 新しい姿勢のルール.

2013年のアリゾナ州フェニックスでの教員セミナーにて、田畑がBond氏にイールドワークのデモを行った後で数回クラスを教えた感想として:

私は、技術や方法としてではなく、イールドワークを提供した。それは、最大限にプレゼンスを保ち、一歩離れては見守り、静かに居心地よくいることで、何度も全体を捉え直すという探求である。ほとんどの参加生は、このワークを進んで試し、自分とワーク自体にプレゼンスがさらに増す感覚がとても気に入ったようだった。

キャシー・マコーネル, Advanced Rolfer, Rolf Movement practitioner,

2015年のワークショップに参加した後:

ロルフィングのプラクティスにおいて、私はマインドフルな状態でセッションを開始し、変容の場を創り出す意図と共に、セッションを通して、豊かなプレゼンスを維持する助けとなる”ある調子”になることが分かった。私は自分の身体の後ろ、特に肚に気づきを持ち続ける限りにおいて、その場の中に流れを呼び込むことができる。時間はゆっくり流れ、直感が浮かび上がる。私が何かを成し遂げたいという考えが空間に侵入する前に、手は次にどこに行こうとしているかが分かるようだ。すべてがより透過性あるように感じる。呼吸、身体、とりわけクライアントの身体が。私の思考によるセッションの組み立ては、今に居ることより後回しになる。クライアントからの感想は、とてもポジティブになった。統合がそれぞれ固有の出会いから生まれるものであるが、彼らは、私同様に軽いタッチがどんなに効果があるのかともて驚く。私の長年通っているクライアントの一人は、それをこんな風に表現している。”キャシーがワークすることを少なくともすればするほど、私はより感知することが多くなる。”私のプラクティスの本質は、新しい方向に進化している。今このワークは、自分とクライアント、そしてその関係性(場)によって活性化される第3の有機体、と共に存在している。

Rolf Institute機関誌のインタビュー記事から抜粋

リサ・メイ・フェアマン, Rolf Institute Rolfing教員

2017年Rolf Institute教員会議でデモセッションした後での感想：

一緒にセッションしたことが、私にとっては、過去の溺れて死にかけた事故によって、鈍く不明瞭になっていた身体と精神のつながりと在り方を取り戻す助けになりました。

もう一つシェアしたいのは、セッション前後で体験したことが、私が数年前溺水事故で経験した臨死あるいは一度死んで蘇生する体験、に非常に似ているということです。その時の体験は、つながっていて居心地がいい感覚-肉体的、霊的、情動的で、深く、深淵な喜びと安らかな感覚でした。溺れている間、どんなにもがいて足に絡まったロープから逃れようとしてもそれが無理だと分かった瞬間、私は明晰(clear)になりました。私は自分を解き放ち、自由になり流動的になるのを感じました。それは素晴らしい体験でしたが、私が死にかけた溺水事故の体験が、どうこのMA(間)を用いたロルフリングセッションと関連しているのかはわかりません。想像するに、様々な形態をとるにせよ、本質的に深く満たされた喜びと安心を体験する時には共通点があるのかもしれない。或いは、恐らくですが、私がMA(間)について、その性質、つまり一呼吸置くこと、空間、関係性、それらをちょうど理解しはじめる時なのかもしれないということです。

ヒロ、興味は尽きません。あなたのワークと重要な概念であるMA(間)をシェアしてくれてありがとう。

[Rolf Institute機関誌 2018年3月号の記事から抜粋](#)

応募概要

【日程】 2019年9月1日 - 3日(三日間)

【参加資格】 ロルファー及びロルファー志望者、SIプラクティショナー、ジャイロトニック、ヨガ、ピラティス指導者、その他身体表現者など
(その他興味ある方は、お問い合わせください)

【受講費】 参加人数により変動制 131,000円~115,000円+消費税

【会場】 水道橋 貸会議室・内海（予定）

❖ 会場、金額、時間共に、開催決定時(概ね6月初頭)に正式発表致します。

【募集応募期限】 第一次締切 5月31日必着

御名前

御住所

連絡先(携帯可) or E-mail

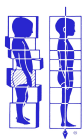
日付・御署名 2019/ /

■このワークショップではタオル、ヨガマット及びブランケット等、下に引くものは各自でご用意願います。

【お申込み・問い合わせ先】

日本ロルフィング協会員 串崎 rolfinder94@gmail.com
<http://www.rolfing-den.com>

参加希望者の方は上記ご記入ご署名の上、上記アドレスに送付ください。5日以内に返信がない場合、お手数ですが再度ご連絡ください。



主催：日本ロルフィング® 協会